

GmanXの解説

GmanX の起動の仕方

GmanX のインストールが終了したら、起動させて下さい。

初めて起動する場合は、次のいずれかの方法で起動して下さい。

Gxview を起動させて Gxview のメニューから「GmanX 起動」を選ぶ。


エクスプローラ、マイコンピュータで画像の有るフォルダを探して、その画像(JPG ファイル)をドラッグしてデスクトップに有る GmanX のアイコンの上にドロップする。

その他(パソコンに詳しい方は、何らかの方法で任意の画像を GmanX に引き渡して起動させて下さい。)

次回からの起動は、GmanX のアイコンをクリックするだけで起動できます。

起動したら

MainBox(中央の枠)に画像が表示されたら、正しく起動されました。

次に  のボタンをクリックします。

SubBox に画像が表示されたら OK です。

若し画像フォルダに子フォルダが無い場合は

「フォルダがありません、作りますか？」

と聞いてきたら開いたフォルダに子フォルダが無いので、子フォルダを作成して下さい。

この時、重要なフォルダや大切な画像を保管している場所で開いている場合は、

「いいえ」を押して戻って終了させて下さい。最初慣れるまでは、別に新たにフォルダを一つ作ってそのフォルダ内に画像を適当な数コピーして下さい。その位置を覚えておいて、「GmanX」を再起動します。次に「MainBox」でマウスを右クリックします。

ポップアップメニューが表示されますから、

「MainBox の変更」を選び、「MainBox を開く」を選びます

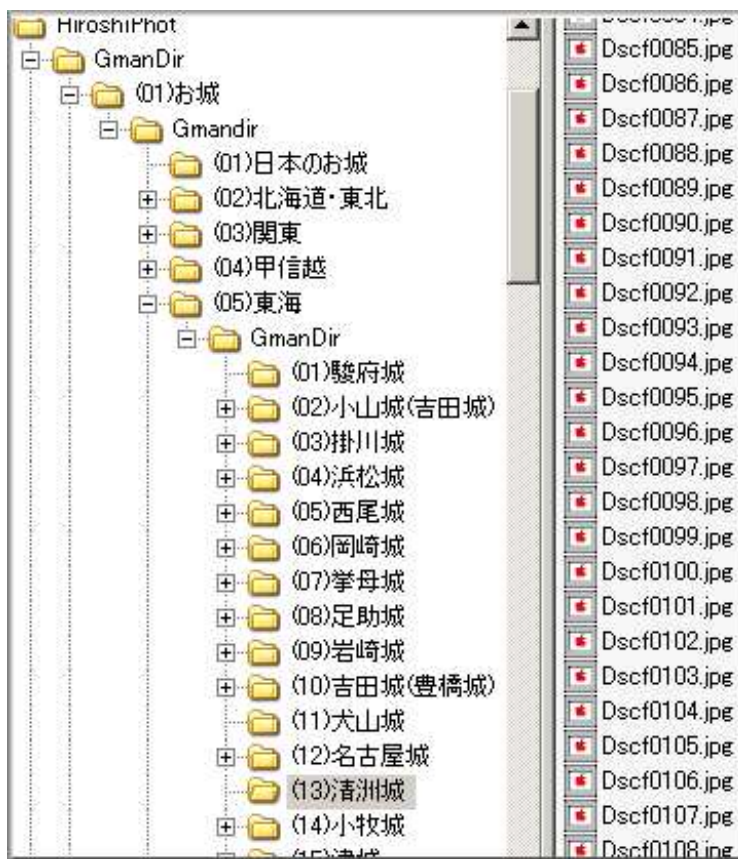
「JPG 画像の選択」から先ほどのフォルダの画像を選択します。「OK」でそのフォルダが MainBox に変更されます。次に上記の「TEC」ボタンを押して

「フォルダがありません、作りますか？」

と聞いてきたら「はい」を押して新規にフォルダを作成します。

GmanX の解説

GmanX は画像を保管するフォルダをユーザー個人の画像書庫として簡単に機能的に管理するツールです。画像数が1万枚を超える場合に利便性を発揮します。



GmanX は階層構造のフォルダ管理をしますので、トップ階層の下に「Gmandir」のフォルダで分類フォルダを束ねて一つの親区分を作ります、その下に同様な形で区分フォルダを、ピラミット状に階層化して管理します。この一つのピラミットを系統区分として幾つもの系統区分ピラミットを作成していきます。

左図で『(01)お城』が親です。その下が『(05)東海』が子の階層で沢山に分類されています。その下に『(05)東海』の孫の階層が「(01)駿府」～の階層フォルダ群に区分されています。

この系統では3階層の区分と

なっています、その下の「(02)小山城(吉田城)」も[+]が付いていて実際は4階層以上に分類されています。その下に幾つもの階層化していく事も出来ます。

GmanXでは実際の画像は1枚ですが多くのフォルダに重複格納されているかのように管理する事が出来ます。この論理フォルダを使えるのがGXシリーズの特徴となっています。多くの画像を管理する場合に機能的に分類すると必ず重複する区分が出てきます、たとえば「富士山」の写真を「山」と言う区分に入れるとします、他で「四季の風景」「観光地」「お好みフォト」「湖アラカルト」「駿河紀行」「甲斐路」「箱根ライン」等々の区分にも重複して分類され1枚の写真のコピーがばら撒かれてしまいます。これを1枚の画像で複数の区分フォルダに分類出来、画像を探すのも大変簡単になっています。

フォルダの書庫管理の特性上、フォルダは通常数百から数千のフォルダに分類して整理します。この為フォルダ操作の便利な機能が沢山付いています。

GmanX は従来のフォルダ名の扱いとは別に新たに「GmanX Box 名」という形のフォルダ名を使っています。通常のフォルダ名と別に通称の呼び名が付けられますので解り易いお気に入りの名前が付けられて、フォルダの解説文章も付けられます。このフォルダ解説はスライドショーでタイトルとしてスクロール表示出来ます。

【 GmanX の構成 】

GmanX は「MainBox」の Main フォルダと、「SubBox」の Sub フォルダが基本構成となっています。しかし時として Main と Sub 別々の系統で処理される場合も有りますが、「MainBox」と「SubBox」の関係は理解して置く必要があります。

C:¥MyGrp¥Gmandir¥MyCar¥Gmandir¥Nissan¥Gmandir¥Skyl ine¥CarA01.jpg

上記のパスを見てパスの説明をします。

SubBoxList パス = C:¥MyGrp¥Gmandir¥MyCar¥Gmandir¥Nissan¥Gmandir¥Skyl ine¥

MainBox のパス = C:¥MyGrp¥Gmandir¥MyCar¥Gmandir¥Nissan¥

親パス = C:¥MyGrp¥Gmandir¥MyCar¥

Top パス = C:¥MyGrp¥

SubBox リストから見て親に移動は MainBox のパスで無く 2 階層上の MainBox から見た親パスである点に注意してください。

必ず Main¥Gmandir¥sub¥ の様に MainBox と SubBox の間に「Gmandir」が入るのが基本構成となっています。「Gmandir」は無くても読み出せますが、機能において制限ができてしまいます。



起動時は MainBox の画像だけで、FolderBox(以降 SubBox と記述します)は表示されていません。

< TEC >ボタンを最初に押すと、MainBox 階層下のフォルダ群が SubBox として一覧表示されます。これで開始準備が出来ます。

[MainBox] メインのフォルダです。このフォルダがとりあえず無いと起動出来ません。

[SubBox] まわりのサムネールが表示されているフォルダの事です。「GBox」「GmanBox」

「FolderBox」などの表示される事が有りますが同じ事です。

[SubBoxList] SubBox 全体を称します。

[GmanList] GX シリーズの画像リストです。

(注意)Folder 名と SubBox 名について。

Folder 名は Windows で使用される固有のディレクトリ名ですが、SubBox 名は GX シリーズで使用されるフォルダ名です。特に指定しない場合 Folder 名と同じになります。SubBox 名は任意の名前を自由に付ける事が出来ます。固有の Folder 名は変更されません。

MainBox の処理

MainBox ドラッグドロップ

MainBox の画像をドラッグして、任意の位置に移動したりコピーしたり出来ます。
移動・コピーが出来る先は、SubBox、Gx 画像 List、ゴミ箱、

MainBox でドロップ

SubBox の画像をドラッグしてドロップした場合、SubBox のドラッグした画像が MainBox に追加されます。(サムネールのアクティブ画像がドラッグされる点に注意が必要です)

OLE ドラッグ

MainBox の画像を[Ctrl]キーを押しながらドラッグすると、OLE ドラッグで他のアプリケーションへドロップ出来ます。ドロップ処理の内容はドロップ先の対応で変わってきます。
[Gxview]ではドラッグした画像に置き換えられます。
「GxSort」「GrpeeX」でも置き換えられます。

OLE ドロップ

他のアプリケーションの画像を MainBox にドロップすると、その画像に MainBox が置き換えられます。

MainBox ダブルクリック

実画像サイズで表示されます。実画像表示中に「矢印キー上下」で次の画像を表示します。
実画像表示を読める場合は実画像クリックです。
矢印キーで画像を変更しても実画像クリックで戻った場合は元の画像のままですが、
[Enter]キーで戻ると、実画像表示されていた画像に MainBox の画像は変わります。

MainBox をマウスの右ボタンクリック

ポップアップメニューが表示されます。

MainBox の画像の変更

MainBox のファイル名リストをクリックする事で、クリックした画像に変更する事が出来ます。

[][]ボタンを押して画像を変更出来ます。

この時、マウス中央ボタンで Auto 移動に変わります。

SubBox の処理

SubBox ドラッグドロップ

SubBox の画像をドラッグして、任意の位置に移動したりコピーしたり出来ます。
移動・コピーが出来る先は、MainBox、Gx 画像 List、ゴミ箱、一時保管トレイ、頁ボタン

SubBox でドロップ

MainBox の画像をドラッグしてドロップした場合、MainBox のドラッグした画像が SubBox に追加されます。

SubBox の画像をドラッグしてドロップした場合、SubBox のドラッグした画像がドロップした SubBox に追加されます。

(サムネールのアクティブ画像がドラッグされる点に注意が必要です)

OLE ドラッグ

SubBox の画像を[Ctrl]キーを押しながらドラッグすると、OLE ドラッグで他のアプリケーションへドロップ出来ます。ドロップ処理の内容はドロップ先の対応で変わってきます。
[Gxview] 「GxSort」「GrpeeX」ではドラッグした画像に置き換えられます。

OLE ドロップ

他のアプリケーションの画像を SubBox にドロップすると、そのフォルダに SubBox が置き換えられます。

SubBox ダブルクリック

実画像サイズで表示されます。実画像表示中に「矢印キー上下」で次の画像を表示します。
実画像表示を読める場合は実画像クリックです。
矢印キーで画像を変更しても実画像クリックで戻った場合は元の画像のままですが、
[Enter]キーで戻ると、実画像表示されていた画像に SubBox の画像は変わります。

SubBox をマウスの右ボタンクリック

SubBox 用のポップアップメニューが表示されます。

SubBox の画像の変更

SubBox を選択すると、SubBox を MainBox で表示出来る[][]ボタンがアクティブになります。これをクリックする事で MainBox に次々画像を表示出来ます。

SubBox 名ラベルの処理

SubBox 名ラベルをクリック

その SubBox を選択出来ます。選択された時、ラベルの色が黄色か水色か紫色に変化します。
変化した色

[黄色] = 子フォルダ無い。[シアン] = 一般のフォルダ有る。[マゼンタ] = Gmdir 有り

SubBox 名ラベルをマウスの右ボタンクリック

ポップアップメニューが表示されます。この時、当該 SubBox が選択されます。

SubBox 名ラベルをマウスでダブルクリック

SubBox 名を変更する事が出来ます。

コマンド各部分の説明

- (1) SubBox(FolderBox)の名前、ここをクリックで選択出来ます。
- (2) 選択中にアクティブに、選択中の SubBox 中の画像を順番に表示します。



- (3) SubBox 用の処理メニュー
- (4) 補足窓
- (5) SubBox の先頭ページ表示
- (6) SubBox を 1 個前後にずらす。
- (7) SubBox の最後ページ表示
- (8) SubBox リストを保存
- (9) SubBox の追加
- (10) 「繰り返し」操作
- (11) MainBox 画像の一覧
このファイル名をクリックで
その画像を表示します。
- (12) 「戻す」直前の操作を戻す。
- (13) 「Mode」ドラッグモード
- (14) 「機能ボタン」
- (15) MainBox の画像の次表示
- (16) Main と SubBox の入換え
- (17) SubBox のファイル名変更

- (18) 履歴移動
- (19) GX リストの上下移動
- (20) GX リストの保存数
- (21) 補足窓 ここを右ボタンクリックで MainBox のリストを変更出来る。

各項目のボタンは利用できる環境の場合にアクティブになります。
非アクティブの場合は、その項目の条件が満たされた場合(SubBox を選択する等)にアクティブに変わります。

コマンド各部分の詳細

(1) SubBox(FolderBox)の名前

SubBox 名が表示されています。

ダブルクリックすると「SubBox 名」を変更する事が出来ます。

ここをクリックで当該 SubBox を選択出来ます。

ここをマウスの右ボタンクリックで選択してポップアップメニューを表示できます。

尚、選択したときの枠色の変化は。

(黄色) 通常を選択。

(紫色) SubFolder に「Gmandir」付きの子フォルダ群が有ります。

(水色) SubFolder に普通の子フォルダが有ります。

(2) 選択中にアクティブに、

選択中の SubBox 中の画像を MainBox の枠内に大きく順番に表示します。

[] SubBox 画像の前の画像

[] SubBox 画像の次の画像

(3) SubBox 用の処理メニュー

コンボボックスメニューで SubBox のメニューが使用出来ます。

[自動検索] MainBox のパスの下に子フォルダが有る場合に、SubBox をそのフォルダに変更します。

[SubBoxList] 選択中の SubBox の子フォルダに、現在の SubBox 全体を変更する。この時、MainBox は現在選択中の SubBox に変わります。

[DirBoxList] 選択中の SubBox の子フォルダに、現在の SubBox 全体を変更する。この時、MainBox は現在のまま変更されません。

[親に戻る] 現在の SubBox の親フォルダへ MainBox を移行して表示します、この時、SubBox は MainBox の子フォルダを表示します。

[TopBoxに戻る] 現在の SubBox の最上層フォルダへ MainBox を移行して表示します、この時、SubBox は MainBox の子フォルダを表示します。

[起動 Mainに戻る] MainBox を起動した時の MainBox に変更します。

[List 消去] 現在の SubBox の表示を全て消去します。リスト表示が消えるだけでフォルダが消去される事はありません。

SubBox 移動で親に移動する場合、「Gmandir」のフォルダを含む 2 階層親フォルダになる点に注意下さい。

(4) 補足窓

現時点でのマウスが有る位置の SubBox などの各種情報を表示します。

[SubBox 画像位置] SubBox 名と Folder 内の画像数など。

[SubBox 名前位置]Folder 名と画像数など。

適時、状況に応じた情報など。

(5) SubBox の[先頭]ページ表示

SubBox の先頭の位置から 22 個 SubBox を表示します。

(6) SubBox を 1 個前後にずらす。

現在表示中の SubBox を前後に 1 個ずつずらします。

[<<] SubBox を前方向に 1 個ずらします。

[>>] SubBox を後方向に 1 個ずらします。

(7) SubBox の[最後]ページ表示

SubBox の最後尾から 22 個分前の SubBox を表示します。

(8) SubBox リストを[保存]

現在表示されている SubBox の並びの情報を保存します。

フォルダ情報として不適切な状況の場合は GBoxList として新規保存します。

(9) SubBox の追加

現在の SubBox のリストに新たに SubBox(Folder)を追加します。

追加できる Folder は現存する全ての Folder から選べます。

(10) 「繰り返し」操作

ドラッグドロップで任意の FolderBox 内の画像を別の FolderBox へ移動コピーした場合、繰り返しドラッグドロップしなくても、このボタンをクリックする事で、処理を繰り返す事が出来ます。

この場合、MainBox の画像を SubBox へ繰り返す場合にマウスの中央ボタンでクリックする事で続きの処理を自動化出来ます。但し、画像ファイルが番号付きのファイルでファイル名の拡張子前 2 文字分の数値を認識して移動しますので、番号の付いて無いファイル及びファイル名の前半部分が違う場合も自動処理は停止します。

自動処理中はクリック部分で停止します。

繰り返し操作は、ドラッグ開始でクリアされます。

(11) MainBox 画像の一覧

MainBox 内の画像ファイル名のリストです。任意のファイル名をクリックする事で、そのファイル画像を MainBox に表示します。

(12) 「戻す」直前の操作を戻す。

(10)繰り返し操作の逆で、直前にドラッグドロップして移動かコピーした処理を戻します、繰り返しボタンで繰り返した場合は、繰り返した回数、操作を順番に戻すことが出来ます。自動操作中は停止します。

(13) 「Mode」ドラッグモード

ドラッグドロップで画像を移す場合、コピー(複写)するか、移動するか決めます。

[Copy] ドラッグドロップ処理の場合表示中の画像がコピーされます。

[移動] ドラッグドロップ処理の場合表示中の画像を移動します。

[全て] ドラッグドロップ処理の場合 SubBox 間の場合、SubBox 内の画像全てがドロップ先に移動します、ドラッグ元の SubBox は空になります。

[全て]を選ぶと移動モードになり、コピー処理は出来ません。

(14) 「機能ボタン」



GmanX 起動時点は SubBox が表示されていません、最初にこのボタンをクリックする事で MainBox の子フォルダを SubBox に一覧表示する事が出来ます。

(これは起動時のみの処理となります)

【拡張メニュー】ここを右ボタンで押すと「拡張メニュー」が表示されます。

【画像数表示】ここを中央ボタン、又は[Shift]キーを押しながらマウス左ボタンを押すと、各 SubBox 名表示欄にそのフォルダ内に有る画像数が表示されます。(マウスのボタンを押し下げている間のみ表示されています)

【子フォルダの確認】ここをマウスの左ボタンで押すと、押している間、各 SubBox 名の表示欄の色が変わり、その SubBox の子フォルダの情報を得る事が出来ます。各色の情報は

[マゼンタ] 子フォルダに「Gmandir」が有ります。

[シアン] 一般の子フォルダ有ります。

[変化ない] 子フォルダはありません。

Gmandir について

「Gmandir」はフォルダ群を束ねているバンド見たいな物で Gx シリーズではフォルダとして認知されません、画像とフォルダと混在する場合に見ずらいのを防ぎ、煩雑にならなくする事を目的に存在します、SubBox は Gmandir の中に作る事をお勧めします。

(15) MainBox の画像の次表示

[] MainBox の画像を前の画像に変更表示

[] MainBox の画像を次の画像に変更表示

(11)のリスト一覧の順番に表示します。

[Shift]キーを押しながら[]をクリックすると区分ファイル移動で次の画像を表示します。 区分ファイル移動は、別項の説明をお読み下さい。

[Ctrl]キーを押しながら[]をクリックするか、マウスの中央ボタンでクリックすると、自動移動になり、順番に次々と画像の表示が変わっていきます。

(16) [ExList] MainBox と SubBox の入換え

MainBox と選択中 SubBox を入れ換えます。

MainBox に移動した SubBox は MainBox と同じに扱えますが、MainBox から SubBox に移動した SubBox は制約があります。

このボタンで入れ換えるのは処理の効率をはかる為の補助で、直接フォルダを入れ換えたり、変更したりするものではありません。

(17) SubBox のファイル名変更

SubBox 内の「JPG 画像ファイル」を一括で変更します。ファイル名を指定しない場合、GmanX が自動的に任意のファイル名を付けます、この名前に順番に番号が付けられます。

尚、GX シリーズではファイル名を変更する事はお薦めできません。他のリンクしているリスト等が読み出せなくなる可能性が有ります。この処理を使う場合は、他にフォルダ内の画像がリンクされていない事を承知の上、処理するようにして下さい。

(18) 履歴移動

MainBox 及び SubBox を前に使った事の有るパスに変更します。矢印の方向で戻ったり、進んだり出来ます。履歴移動は、MainBox と SubBox を別個に変更します。

(19) GX リストの上下移動

GX 画像リストを上下に移動します。

GX 画像リストは、GX 画像リストが存在する場合のみ使えます。GX 画像リストについては別項の説明をお読み下さい。

(20) GX リストの保存数

現在 GX 画像リストが何個、保存されているか表示されます。

(21) 補足窓 ここを右ボタンクリックで MainBox のリストを変更出来る。

現時点でのマウスが有る位置の SubBox などの各種情報を表示します。

[SubBox 画像位置] SubBox の先頭画像のファイル名。必ずしも表示されている画像のファイル名になるとは限りません。

[SubBox 名前位置] Folder 名と子ホルダの数。子フォルダの情報は色で表示されます。

[MainBox の画像変更()ボタン] MainBox に表示されている画像のサイズ。

適時、状況に応じた情報など。

【 GX 画像リストについて 】

GX シリーズでは画像のリストを自由に作成してリストをフォルダ内の画像を扱う様に操作する事が出来ます。Gxview を使って特別に作られたフォルダ内の画像の様に扱えます。

GxSort を使うと並び、画像名、タイトル、表題など様々な作成や変更も簡単に出来ます。尚、GX シリーズでは既存のフォルダ内の画像を直接削除しないで現状を維持した状態で、フォルダ内の画像を削除したり、元に戻したりが出来ます。画像の並び順もファイル名や画像名(GX シリーズの)を変更せず現状のまま変更出来ます。スライドショーの順番は勿論、Gxview で読み込む順番も思いのまま出来ます。


GX 画像リストの作成は GmanX 付属の GxSort で作成します。

【 区分移動について 】

画像ファイル名が Gazo01 ~ Gazo10、Pic03 ~ Pic31、Sample01 ~ Sample22、ZextGazo101 ~ ZextGazo115...、のように有る場合、Gazo01、Pic03、Sample01、ZextGazo101、...の様に同じ共通部分の有るファイルの場合その共通ファイルの最初のファイルのみ表示していくモードとなります。Gazo02 ~ Gazo10、Pic04 ~ Pic31、Sample02 ~ Sample22、ZextGazo102 ~ ZextGazo115 のファイルは飛び越して表示されます。

画像を探すときに便利な機能です。尚 Gxview の区分移動と同じです。

補足コマンドバー各部分の説明

- 
- (22) スライドショーボタン
[左ボタン] 選択中の SubBox の画像でスライドショー
[右ボタン] 選択中の SubBox から順番に SubBox 移動して実行
選択していない場合は MainBox を中心にスライドショー
- (23) 保管トレイ
SubBox の画像をドラッグドロップで、SubBox の画像全てが一時保管されます。ここに一時保管された画像群は、任意の位置の SubBox に戻す事が出来ます。
一時保管される画像は 1 度に 1000 枚迄の画像で、16 個保管されます。保管された逆の順番に取り出されますが、トレイをクリックで取り出す順番を変更する事も出来ます。
ここに一時保管された画像は、GmanX を終了しても残っていますので、次に起動した時にフォルダ系列が全く別の場合でも取り出す事が出来ます。全く別の位置に移動する時にも便利です。
- (24) 頁ボタンを押すと、その頁の SubBox が表示されます。1 頁 22 個の SubBox で頁の計算をします。
ここに SubBox をドラッグドロップするとその頁の空の SubBox と交換する事が出来ます。
- (25) 頁移動ボタン
- (26) 現在の頁を表示します。
- (27) MainBox と SubBox を合せる。
- (28) 終了ボタン
尚、画像をドラッグ中ここにゴミ箱が表示されて画像を削除出来ます。

補足コマンドバー各部分の詳細

(22) スライドショーボタン

[左ボタン] 選択中の SubBox の画像でスライドショー

固定モードで、スライドショーを実行します。選択 SubBox 内の画像を全て表示したら終了します。

[右ボタン] 選択中の SubBox から順番に SubBox 移動して実行

フォルダ移動モードスライドショーを実行します。選択 SubBox 内の画像を全て表示したら次の SubBox 内の画像を表示します。すべての SubBox を表示したら終了します。

選択してない場合は MainBox を中心にスライドショーを実行します。

GmanList で処理している場合も、通常の FolderBox で処理する場合と同じです。

GmanList については別項の説明を参照下さい。

(23) 保管トレー

SubBox の画像をドラッグドロップで、SubBox の画像全てが一時保管されます。ここに一時保管された画像群は、任意の位置の SubBox に戻す事が出来ます。

一時保管される画像は 1 度に 1000 枚迄の画像で、16 個保管されます。保管された逆の順番に取り出されますが、トレーをクリックで取り出す順番を変更する事も出来ます。

ここに一時保管された画像は、GmanX を終了しても残っていますので、次に起動した時にフォルダ系列が全く別の場合でも取り出す事が出来ます。全く別の位置に移動する時にも便利です。

(24) 頁ボタンを押すと、その頁の SubBox が表示されます。1 頁 22 個の

SubBox で頁の計算をします。

ここに SubBox をドラッグドロップするとその頁の空の SubBox と交換する事が出来ます。

(25) 頁移動ボタン

() 前頁に戻る

() 次頁に移行

(26) 現在の頁を表示します。

現在表示している SubBox リストの頁番号を表示しています。

尚、頁の数字部分をクリックすると下記の内容が表示されます。

[左ボタンでクリック] 現在のリスト中で全ての SubBox 内の画像総数が表示されます。正しく表示されない場合は更新して下さい。

[右ボタンでクリック] 現在の各種パス情報をひょうじします。

(27) MainBox と SubBox を合せる。

MainBox と SubBox が別系統の場合に有効となります。同じ系統の場合は何もしません。どちらに合せるかは下記のボタンで決まります。

[左ボタンでクリック] MainBox のリストを SubBox のリストに合せます。

[右ボタンでクリック] SubBox のリストを MainBox のリストに合せます。

(28) 終了ボタン

[Shift]キーを押しながらクリックで終了します。

尚、画像をドラッグ中ここにゴミ箱が表示されて画像を削除出来ます。

【各リスト名のまとめ】

[SubBox リスト] SubBox 全体の総称

[FolderBox リスト] SubBox リストと同じ扱いですが、フォルダを意識した使い方

[Folder リスト] Gmandir 内のフォルダの一覧

[Gman リスト] 任意に作られた Folder の一覧

ポップアップメニュー

MainBox を右ボタンクリックで表示されます。

SubBox名変更 ▶	(1) SubBox 名変更
SubBoxの追加 ▶	(2) SubBox の追加
SubBoxの作成 ▶	(3) SubBox の追加
GmanList作成 ▶	(4) GmanList 作成
SubBox移動モード ▶	(5) SubBox 移動モード
区分File移動 ▶	(6) 区分 File 移動
ツール ▶	(7) ツール
MainBoxの変更 ▶	(8) MainBox 変更
SubBoxの変更 ▶	(9) SubBox の変更

SubBox名変更 ▶	SubBox名変更	(101) SubBox 名変更
SubBoxの追加 ▶	一括SubBox名変更	(102) 一括 SubBox 名変更
SubBoxの作成 ▶	当該頁一括変更	(103) 当該頁一括変更
GmanList作成 ▶		
SubBox移動モード ▶		
区分File移動 ▶		
ツール ▶	MyCar	
MainBoxの変更 ▶		
SubBoxの変更 ▶		

SubBox名変更 ▶		(201) 初期状態に戻す
SubBoxの追加 ▶	初期状態に戻す	(202) SubBox の追加
SubBoxの作成 ▶	SubBoxの追加	(203) GmanList の追加
GmanList作成 ▶	GmanListの追加	
SubBox移動モード ▶		
区分File移動 ▶		
ツール ▶		
MainBoxの変更 ▶		
SubBoxの変更 ▶		

SubBox名変更 ▶		(301) 新規に SubBox 作成
SubBoxの追加 ▶		(301) 端数 SubBox の作成
SubBoxの作成 ▶	新規にSubBox作成	(302) 新規 SubBox の挿入
GmanList作成 ▶	端数SubBoxの作成	(304) 一括 SubBox 作成
SubBox移動モード ▶	新規SubBoxの挿入	
区分File移動 ▶	一括SubBox作成	
ツール ▶		
MainBoxの変更 ▶		
SubBoxの変更 ▶		



- (701) Gxview の起動
- (702) GxSort
- (703) GrpeeX
- (704) Explorer
- (705) ファイル名一覧
- (706) 画像一覧 Web
- (707) 画像編集



- (801) MainBox 開く
- (802) 起動 MainBox
- (803) SubBox に合す
- (804) 直前 MainBox に戻す
- (805) MainBox 履歴



- (901) GBoxList
- (902) SubFolder
- (903) MainBox
- (904) 直前 SubBox に戻す
- (905) SubBox 履歴

ポップアップメニュー 各項目の詳細

(1) GmanBox 名変更

SubBox 名の変更をします。

(2) SubFolder の追加

新規に SubBox をリストに追加します。

(3) GmanFolder の作成

新規にフォルダを作成します。

SubBox の追加は、現在のリストに SubBox を追加しますが、新規にフォルダを作成する場合は、「Gmandir」内に Folder を作成します。リストに追加するのと、現物のフォルダを追加作成する違いがあります。リストに追加は現物のフォルダを作成するのではなく、リストが追加されるだけと言う点が違います。

(4) GBoxList 作成

現在の SubBox リストを基に、Gman リストを作成します。画像の有る SubBox をリストアップして新規に Gman リストを作成します。

(5) BoxFolder 移動モード

SubBox の並びを変更出来るモードになります。SubBox をドラッグドロップして SubBox の順番を並び換える事が出来ます。

(6) 区分 File 移動

MainBox の画像移動を区分移動表示となります。このモードにすると、[]で次の画像を表示すると、区分移動となります。区分移動は別項を参照下さい。

(7) ツール

GmanX の現在の状況で各種のツールを使用できます。

(8) MainBox 変更

現在の MainBox を変更します。

(9) SubBox の変更

現在の SubBox リストを変更します。

- (101) SubBox 名変更
現在選択中の SubBox を変更します。

- (102) 一括 SubBox 名変更
SubBox リストの全ての SubBox 名を一括で変更します。

- (103) 当該頁一括変更
現在表示中頁の全ての SubBox 名を一括で変更します。

- (201) 初期状態に戻す
SubBox リストの変更を取り消し元の状態に戻す。

- (202) SubBox の追加
SubBox リストに新規に SubBox を追加する。
フォルダを SubBox に追加します。

- (203) GmanList の追加
現在の SubBox リストに別の GmanList を追加する。
GmanList を参照選択して追加します。

- (301) 新規に SubBox 作成
現在の SubBox の最後尾に新しいフォルダを作成します。
新規に空のフォルダを SubBoxLayout に追加します。

- (301) 端数 SubBox の作成
現在の SubBox リストが 22 個の倍数で無い時、22 個の倍数のフォルダ数になるように、足りないフォルダ数を追加作成します。(1 頁が 22 個表示の為、22 個の倍数の方が整理しやすくなります。)

- (302) 新規 SubBox の挿入
選択中の SubBox の位置に、新規のフォルダを挿入作成します。

- (304) 一括 SubBox 作成
現在の SubBox リストに、新たに 22 個フォルダを一括で作成します。

- (701) Gxview の起動
現在のパスで Gxview を起動する

- (702) GxSort 起動
現在のパスで GxSort を起動する

- (703) GrpeeX 起動
現在のパスで GrpeeX を起動する

- (704) Explorer 起動
現在のパスでエクスプローラを起動する(現在のパス位置の確認が出来ます)

- (705) ファイル名一覧
現在のパスで DirPrinter を起動する

- (706) 画像一覧 Web
選択中の SubBox の画像一覧をインターネットエクスプローラで表示する。

- (707) 画像編集
現在の画像を画像エディタで編集します。
画像エディタを設定しなければ使えません。

- (801) MainBox 開く
新しい MainBox を開きます。

- (802) 起動 MainBox
起動時の MainBox に戻します。

- (803) SubBox に合す
現在の SubBox リストのパスに MainBox を変更する。

- (804) 直前 MainBox に戻す
変更直前の MainBox に戻します。

- (805) MainBox 履歴
MainBox の起動履歴により MainBox を移動します。

(901) GBoxList 開く

GmanList を開き、SubBox リスト表示します。(GmanList を選択します)

(902) SubFolder 開く

新しい SubBox を開きます。(Gmandir フォルダを選択します)

(903) MainBox 合す

現在の MainBox のパスに SubBox リストを変更する。

(904) 直前 SubBox に戻す

変更直前の SubBox リストに戻します。

(905) SubBox 履歴

SubBox リストの履歴により SubBox リストを変更する。

ポップアップ拡張メニュー



左記の< TEC >ボタンを右クリックで拡張 Menu が表示されます。

拡張機能	(1) 拡張機能
スライドショー	(2) スライドショー
GBoxリストの作成	(3) GBox リストの作成
ゴミ箱リスト表示	(4) ゴミ箱リストの表示
前頁リスト移動	(5) 前頁の SubBox を表示
次頁リスト移動	(6) 次頁の SubBox を表示
表示サイズ変更	(7) 表示サイズ変更
リスト印刷	(8) リスト印刷
日付表示	(9) 日付表示
✓ GxList窓表示	(10) GxList 窓表示
オプション	(11) オプション
Version	(12) Version
GmanX解説	(13) GmanX 解説
最新に更新	(14) 最新に更新
直前へ戻す	
終了	

(15)直前に戻す

(16)終了

拡張機能	Folder直接変更	(101) Folder 直接変更
	File名の変更	(102) File 名の変更
スライドショー	ファイルの集合	(103) ファイルの集合
GBoxリストの作成	現在頁の集合	(104) 現在頁の集合
ゴミ箱リスト表示	ファイルの分散	(105) ファイルの分散
前頁リスト移動	FileAllRename	(106) File All Rename
次頁リスト移動	PageRename	(107) Page Rename
表示サイズ変更		
リスト印刷		
日付表示		
✓ GxList窓表示		
オプション		
Version		
GmanX解説		
最新に更新		
直前へ戻す		
終了		

ポップアップ拡張メニュー 各項目の詳細

- (1) 拡張機能
拡張機能が使えます。
- (2) スライドショー
現在のパスでスライドショーを実行します。
- (3) GBox リストの作成
現在の SubBox リストを基に、Gman リストを作成します。画像の有る SubBox をリストアップして新規に Gman リストを作成します。
- (4) ゴミ箱リストの表示
現在の SubBox リストにゴミ箱を追加出来ます。
- (5) 前頁の SubBox を表示
現在表示中の SubBox リストの前ページを表示します。
- (6) 次頁の SubBox を表示
現在表示中の SubBox リストの次ページを表示します。
- (7) 表示サイズ変更
GmanX のサイズを変更します。(800x640)の解像度のモニタでは小さなサイズしか使用出来ません。
- (8) リスト印刷
現在の SubBox リストの一覧をサムネール形式で印刷します。(A4 用紙対応)
- (9) 日付表示
MainBox の表示枠に画像ファイルの日付が表示されます。
日付を変更する場合、ここで日付を表示させて下さい。
- (10) GxList 窓表示
GX 画像リストを表示します。Gx 画像リストへ画像をドラッグドロップする事で、GX 画像リストに画像を追加する事が出来ます。

(11) オプション

オプション機能

(12) Version

GmanX のバージョン

(13) GmanX 解説

GmanX の簡単な解説をテキスト表示します。

(14) 最新に更新

SubBox リストの表示内容を最新に更新します。

サムネールの表示が正しく無い場合などで使用下さい。

(15) 直前に戻す

SubBox リストを変更直前に戻す。ここでの処理は SubBox リストを直前に戻して、MainBox の表示も SubBox リストのパスに合せられます。

(16) 終了

GmanX の終了

【 GmanX の更新について 】

GmanX の SubBox に表示される画像は最初に SubBox を表示した時に作られたサムネール画像か、最初から空の SubBox に画像が始めて入った時に作られるサムネール画像が記憶されません。既存する画像が移動や削除で SubBox 内に無くなった場合サムネールは表示されませんが、新たに新規の画像が入った場合、その画像のサムネールがその時点では表示されますが、SubBox を再度開いた場合は過去の現在の SubBox に無い画像のサムネールが表示されません。これは間違いでは有りません。GmanX の SubBox は存在しないサムネールでもその SubBox のタイトル画像として表示出来るからです。

表示されている画像を新しいものと変更したい場合は、画像変更コマンドを使って明示的にサムネールの変更を行なうか、GmanX の更新を行なってください。

サムネールが古いデータを読み込み正しく表示されない場合などの時もこの更新を使うと正しく表示される場合が有ります。

(101) Folder 名の直接変更

フォルダ名を直接変更します。変更は当該フォルダ内の画像を他でリンクして参照していない事を確認の上利用してください。

(注意)GmanX では、フォルダ名を直接変更する事はお薦め出来ません、何故なら GX シリーズ全体で各フォルダと画像にリンクしています、その為フォルダ名を変更すると他のリストから読み込む事が出来なくなる場合が考えられます。出来るだけ SubBox 名の変更をご利用下さい。

(102) File 名の変更

ファイル名を直接変更します。変更は当該ファイルが他でリンクして参照していない事を確認の上利用してください。

(注意)GmanX では、ファイル名を直接変更する事はお薦め出来ません、何故なら GX シリーズ全体で各フォルダと画像にリンクしています、その為ファイル名を変更すると他のリストから読み込む事が出来なくなる場合が考えられます。出来るだけ GxSort を使って画像名の変更をご利用下さい。

(103) ファイルの集合

現在表示されている SubBox リストの各 SubBox 内の画像を任意の SubBox 一箇所に全て集めます。この処理を使用する場合も前述の注意事項を確認して下さい。

(104) 現在頁の集合

現在の頁に表示されている SubBox リストの各 SubBox 内の画像を任意の SubBox 一箇所に全て集めます。この処理を使用する場合も前述の注意事項を確認して下さい。

(105) ファイルの分散

一つの SubBox に収納されている画像を区分ファイル毎に空の SubBox に分散します。前述の「ファイルの集合」の逆処理です、ファイルの集合を戻す時にも利用できません。

区分ファイルについては別項の説明を参照下さい。

(106) File All Rename

現在表示されている SubBox リストの各 SubBox 内の画像を SubBox 毎に区分ファイル名に変更します。各 SubBox 内の画像単位で全ての SubBox 内の画像名が変更されます。この処理を使用する場合も前述の注意事項を確認して下さい。

(107) Page Rename

現在表示中のページ中で SubBox リストの各 SubBox 内の画像を SubBox 毎に区分ファイル名に変更します。各 SubBox 内の画像単位で全ての SubBox 内の画像名が変更されます。

この処理を使用する場合も前述の注意事項を確認して下さい。

区分ファイルについては別項の説明を参照下さい。

【 ファイルの集合ポイント 】

インターネットで集めた画像とか、雑誌 CD から収集した画像を管理する場合、同じファイル名の画像が混在して、下手に一箇所のフォルダに集めると上書きされたり紛失したり行方不明になったりします、そのような時の対策として、1 区分毎のフォルダを作り(たかさんの空ホルダを作って)そこに収集していくと重複せず簡潔に分類出来ますが、その度にフォルダを作って入れていくのもけっこうシンドイものです。又ファイル名も元のままだと後々思わぬ事になりかねません。そこで一度、収集用のフォルダを作って(GmanX で 66 個の空フォルダを作ってみます)、そこに区分毎に画像を保存 (又はコピー) していきます。

この時点ではファイル名はバラバラです。

全てが各フォルダに分散して格納されたら、(106)の File All Rename を実行します、これで格納された全ての画像に別々のファイル名が付けられます。

次に(103)ファイルの集合で一つのフォルダに集めます、集めるフォルダは別に未処理・未分類フォルダを作っておき、その空ホルダを収集フォルダの SubBox に追加してから、その SubBox に集合させると、その後の処理が楽です。

こうして集められたファイルは区分ファイルとなり区分処理出来ます。

この処理の一度に扱う画像は 1000 枚程度が最適でしょう。

ポップアップ SubBox メニュー

SubBox 画像を右クリックで SubBox メニューが表示されます。



- (1) TopDir(●) 最上層の親ディレクトリ迄移動変更
- (2) 親 Dir(↑) 現在の SubFolder の親ディレクトリ迄移動変更
- (3) 子 Dir(↓) 現在選択の SubBox の子ディレクトリに移動変更
- (4) サムコピー(表示中のサムネールをクリップボードへコピー)
- (5) 実像コピー(表示中のサムネールの実画像をコピー)
- (6) 画像変更(表示するサムネールを変更する)
- (7) 画像削除(表示中の画像をゴミ箱へ捨てる)
- (8) 画像編集(現在の画像を画像エディタで編集する)
- (9) 実像表示(現在表示中のサムネールの実像を別枠で表示する)
- (10) サム Auto(選択中の SubBox 内のサムネールを順番に変更表示する)

ポップアップ SubBox メニュー各項目の詳細

- (1) TopDir(●) 最上層の親ディレクトリ迄移動変更
現在選択中の SubBox の最上層に SubBoxList を移動します。
- (2) 親 Dir(↑) 現在の SubFolder の親ディレクトリ迄移動変更
現在選択中の SubBox の親に SubBoxList を移動します。
- (3) 子 Dir(↓) 現在選択の SubBox の子ディレクトリに移動変更
現在選択中の SubBox の子に SubBoxList を移動します。
- (4) サムコピー(表示中のサムネールをクリップボードへコピー)
サムネール画像をクリップボードへコピーします。コピーした画像は貼り付けの出来る位置に貼り付ける事が出来ます。(ワード、画像エディタ、その他)
- (5) 実像コピー(表示中のサムネールの実画像をコピー)
サムネールの実際の画像をクリップボードへコピーします。コピーした画像は貼り付けの出来る位置に貼り付ける事が出来ます。(ワード、画像エディタ、その他)
ここでのサムネールが必ずしも実画像と一致しませんので、一度 SubBox の画像を MainBox に表示させて SubBox の表示画像を確認してから処理すると正しくコピーされます。

(6) 画像変更(表示するサムネールを変更する)

現在選択中の SubBox に表示されている画像をサムネール画像に設定します、ここで設定すると次回この SubBox リストを開いた時に現在の画像が表示されるようになります。

(7) 画像削除(表示中の画像をゴミ箱へ捨てる)

現在選択中の SubBox に表示されている画像を削除(ゴミ箱に移動)します。

尚、現在表示されている画像が処理画像とは限りませんので、一度 SubBox 画像を確認してから処理してください。

(8) 画像編集(現在の画像を画像エディタで編集する)

現在選択中の SubBox に表示されている画像を画像エディタで編集します。

尚、現在表示されている画像が処理画像とは限りませんので、一度 SubBox 画像を確認してから処理してください。

(9) 実像表示(現在表示中のサムネールの実像を別枠で表示する)

現在選択中の SubBox に表示されている画像を実物大で表示します。

(10) サム Auto(選択中の SubBox 内のサムネールを順番に変更表示する)

現在選択中の SubBox 内の画像を次々と順番に表示します。尚 SubBox 内に画像が 3 枚以下だと機能しません。

【 SubBox のサムネール表示 】

SubBox を選択して[] SubBox 画像の変更で MainBox に SubBox の画像を表示して任意の位置で[戻る]ボタンを押すと、SubBox の画像はその画像に変更されます。この画像は次回起動時には戻ってしまいますが、SubBox リストを変更しない場合は保持されていますので、これでどの画像がアクティブになっているか確認しておく間違いは起きません。